



## サマーチャレンジ

夏休み中の7月26日～31日の4日間、あやの台小学校サマーチャレンジを実施しました。外部の方に講師として来ていただき、全22講座を開設し、のべ374人の子ども達が様々な体験活動を行いました。「剣道教室」「竹の水鉄砲」「茶道」「ポッチャ」などの体験や、「絵画教室」「玉ねぎ染め」「レザークラフト」などの作品制作、「親子でパン作り」「はしもとオムレツ」「ごま豆腐」の調理など、様々なジャンルを体験できました。



子ども達の感想を一部紹介します。「とてもいいトンボができた。先生たちのおかげ。とても楽しかった。(絵画教室)」「去年のキーホルダーは、敬老の日に祖母にプレゼントしました。今回作った小銭入れは、おつかいに行くとき使います。(レザークラフト)」

子ども達は、それぞれの講座で夏休みの思い出を作り、これからの学習に何か生かしてくれればと思います。

それぞれの講座の講師先生やサポーターさん、保護者ボランティア、高校生ボランティア、多くの方々をいただき、無事終わることができました。



来年度に向けてのお願いです。親子参加もありがたいのですが、ボランティアとしてご参加いただけたらもっとありがたいです。また、保護者の方で、「子ども達に何か教えてあげたいな。」という方がいらっしゃいましたら、ご協力お願いいたします。



## ≪橋本市・高野町内学童水泳記録会≫

昨年4年ぶりに再開した橋本市・高野町内学童水泳記録会ですが、今年度以降開催しないことに決定しました。理由は、ここ数年の異常な暑さにより、午前中半日であっても児童がテントの下に約3時間待機すること、関係職員が炎天下の中、監察やタイム計測等で休憩できないことなど、熱中症の危険度が増したことによるものです。

しかし、記録会を目標に頑張ることで児童の泳力が向上することは確かです。本校では、6年生の水泳クラブや全学年の夏休み中の水泳教室を継続することで、児童の泳力を維持していきます。今年度の水泳クラブや水泳教室で、泳力が向上した児童はたくさんいました。

この夏も全国の海や川で死亡事故が発生しています。このようなことが起こらないように着衣水泳を行い、おぼれたときの対応方法も勉強しました。これからも時代に合わせた指導を進めてまいります。

## 教育講演会でのお話

8月3日に開催された伊都地方教育講演会に出席してきました。聖福寺住職の関守研悟氏の『いのち輝いて』～親子の絆が深まるお話と音楽～という演題の講演でした。その講演の中で、天皇陛下が記者会見で、子育て中に感銘を受けたものとして、ドロシー・ロー・ノルト『子は親の鏡』という詩を紹介されたというお話を聞きました。その詩の一部です。

褒めてあげれば、子どもは明るい子に育つ

愛してあげれば、子どもは人を愛することを学ぶ

認めてあげれば 子どもは自分を好きになる

見つめてあげれば 子どもは頑張り屋になる・・・

私も昔にドロシー・ロー・ノルトの「子どもが育つ魔法の言葉」という本を買っていました。講演後読み返してみると、いつの時代も子どもと接するとき大切なことは大きく変わらないのだな思いました。興味のある方は一度読んでみてはいかがでしょうか。

まだまだ、暑い日が続きますが、子ども達と共に学んでいきたいと思ひます。

※『子は親の鏡』裏面参照

## 『子は親の鏡』

けなされて育つと、子どもは、人をけなすようになる  
とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる  
不安な気持ちで育てると、子どもも不安になる  
「かわいそうな子だ」と言って育てると、子どもは、みじめな気持ちになる  
子どもを馬鹿にすると、引っ込みじあんな子になる  
親が他人を羨んでばかりいると、子どもも人を羨むようになる  
叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう

励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる  
広い心で接すれば、キレる子にはならない  
誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ  
愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ  
認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる  
見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる  
分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ  
親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る  
子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ  
やさしく、思いやりをもって育てれば、子どもは、やさしい子に育つ  
守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ  
和気あいあいとした家庭で育てば、  
子どもは、この世の中はいいところだとおもえるようになる

「子供が育つ魔法の言葉」ドロシー・ロー・ノルト著 より

「子は親の鏡」とあり、家庭での子どもとの向き合い方について書かれています。しかし、この『親』の部分を担当や学級・学校に置き換えて、学校でも日々取り組むことが必要なのかなと考えます。日々の変化が激しい時代、未来予想が難しい時代を乗り越えていける子どもを育てるために、ご協力よろしく申し上げます。

※この本を買う前にちょっと見たいという方は、校長室までお越しください。